

平成 30 年度まりも園事業報告

1 総括

平成 30 年度、まりも園ではご利用者が心地よさを感じて過ごせるサービスを提供するために、職員の人員体制を整備することを第一の目標としました。デイサービスより介護職員 1 名が特別養護老人ホームへの異動の要望があり、内部異動を実現することができました。他、人材開発センターの活用や電子及び書面での募集を継続した結果、平成 31 年 4 月より人員配置を整備することができました。職員の人員体制を整備するために時間を要したと共に、配置換等も行われたため、まりも園全体に影響を及ぼしましたが、特別養護老人ホーム、デイサービスの 2 事業が一体的に協力し事業を運営することにより、職員の人員体制を整備することができました。

特別養護老人ホームは、稼働率に関し上半期は低迷している状態がありました。しかし、下半期に相談室の機能を強化した結果、稼働率を安定することができました。ご利用者支援に関し介護職員は人数が少ない中、行事や外出等の企画を実施することによりご利用者自身が楽しみや目標を持ち、日々の生活に生きがいを感じていただけるように努力しました。統一した支援を実施するためのケアワーカー会議は介護職員の人員体制が不足していたため、開催することはできませんでした。

デイサービスは、ご利用者の要望を踏まえ安心、安全な支援を提供すると共に、特色としている行事活動を継続することができ、稼働率も向上しました。毎月、独居世帯のご利用者を中心に夕食会を開催することで孤立解消の事業発展の兆しを見出すことができました。

居宅介護支援事業は常勤職員 1 名を採用し、介護支援専門員が 2 名体制となりました。稼働率は増加し、認定調査の件数を獲得することにより収入が増加しましたが、収支状況は改善されませんでした。

2. 重点目標の取り組みと来期の課題

1) ご利用者が心地よさを感じて過ごせるサービスの提供を目指します。

【特別養護老人ホーム】

【目標】

- 1 ご利用者の個別ケアを検討する場（グループ会議・ケアワーカー会議・ケア主任会議）を作り、職員全体で情報の共有・検討を行い、統一したケアができる様にします。
- 2 ご利用者に楽しみ・生きがいを持って生活ができる施設を目指します。
日々のレクリエーション・誕生日会等のイベントを継続して開催し、実施内容を見直し、更に充実したものになる様にします。
- 3 個別機能訓練計画をもとにご利用者（またはご家族の意向）毎の目標を伺い日常生活動作の維持、減退を予防できる運動プログラムを立案していきます。また散歩など運動時間内で外出支援を設け、気分転換や季節感を感じていただきます。
- 4 ご利用者が安心して食事をしながら同時に食の楽しみを感じていただける様、栄養ケアマネジメントを通じて個々のご利用者にも最適な食事内容を提供しつつ、選択食の実施や季節感のあるメニュー提供、嗜好調査の献立への反映を行います。

【取り組み】

- 1 ケアワーカーの人員不足が解消されないため、定期的な会議の設定ができず実施することができませんでした。
- 2 「塗り絵」「書き取り」等の静的プログラムと「風船バレー」等の動的プログラムを週3～4回実施しました。その月の誕生者を紹介し、職員とご利用者とで歌を歌い祝う誕生会は月1回実施しました。また、おやつは外注の大きなケーキを用意し、切り分けてご利用者全員で食べる等を行いました。3月にはくるめ園が主催の移動水族館にも参加し、新しいイベントを実施することができました。
- 3 個別機能訓練については、ご利用者の意欲向上に繋がる様に実施しました。訓練を通じて生きがいを持っていただける様に内容や回数などを工夫しました。また、外出支援については、介護職員と協働し、4～6月にかけては天候の良い日は散歩、11月は近隣大学の文化祭に参加、3月下旬は花見に外出することができました。
- 4 調理職員1名が11月より病休を明け、職員体制が整いました。そのため、3月におやつと11月に昼食の選択食を実施することができました。嗜好調査については、「食事の提供時間や量・味付、嗜好等の各項目をご利用者の担当者と共にアンケート調査を実施しました。

【取り組みの結果】

- 1 目標とした、統一したケアは支援の核となるケアワーカー会議が開催できず、成果を出すことができませんでした。
- 2 実施内容の見直しを検討する場を持つことができず、日中の支援を更に充実することには至りませんでした。
- 3 ご利用者の意欲向上に繋がる様、個別機能訓練を実施した結果、ご利用者自身が目標と生きがいを持ち、日々の生活を送ることができました。全体的には加齢による日常生活動作の低下は見られていますが、その進行を少しでも遅延する様に取り組むことができました。散歩外出は体調不良の方以外は、ほぼ全ご利用者が参加することができました。
- 4 選択食及び嗜好調査を実施したことにより、よりご利用者の嗜好に合った食事や季節感を味わうことのできる食事を提供することができました。

【来期の課題】

- 1 来年度より職員体制が整備されるため、主要会議を定例化し、ケア内容について細やかに検討を行い、ご利用者本位のケアが提供できる様になると考えています。長年に渡りケアワーカー会議が開催できていなかったことにより、会議の進め方・考え方を再確認し、充実した内容の会議を目指します。
- 2 日中支援の充実には、ボランティアの受入れも次年度に向けて検討します。
- 3 来年度に関しても、職員体制が整うため、全員参加ができるにスケジュールを組み立てます。
- 4 今年度、選択食の実施が行えたため、来年度以降は選択食の内容の充実を図り、よりご利用者の意向に沿った食事提供が行える様に検討します。

【デイサービスセンター】

【目標】

- 1 個別のケアカンファレンスを月1回開催し、ご利用者の意向に添った支援提供を標準

化すると共に、ご利用者の叶えたい夢（要望）を踏まえ個別に実現することを目標とします。

2 ご利用者に居心地良く生活をしていただくために、全職員の協力のもと、日々の清掃活動に励みます。

3 機能訓練を強化し、日常的に利用するメンバーを増やします。

【取り組み】

1 上半期に特養の個別カンファレンスに研修参加し、実施方法を学んだ上で、下半期にご利用者の意向に沿った支援に向けてケアカンファレンスを開催しました。

2 ご利用者に居心地良く生活をしていただくために、全職員の協力で日々の清掃活動を行いました。

3 個別に機能訓練を実施する必要性のあるご利用者の意向を伺い、ご利用者 5 名を対象に在宅生活継続のため、機能訓練室にて平行棒を活用した起居動作及び歩行訓練、滑車訓練を実施しました。

【取り組みの結果】

1 職員間にご利用者支援の情報を共有することに支援を標準化することができました。また、ケアカンファレンスで話された内容及び課題解決のための提案事項を担当の介護支援専門員へ報告することができました。

2 デイサービスの職員全員が協力して清掃を行い、清潔を保つことができました。

3 対象のご利用者が在宅生活を継続するために必要な日常生活動作の一定の成果を上げることができました。

【来期の課題】

1 より円滑にデイサービスと居宅介護支援事業所の共通ご利用者の課題解決を行うことができるよう、ケアカンファレンスをデイサービスと居宅介護支援事業所が協働し開催することが望まれます。

2 継続し、デイサービスの職員全員が協力し、日々の清掃活動を行います。

3 継続し、対象のご利用者の増員を目指します。個別機能訓練の加算を算定するために常勤の専門職を配置し体制を整備するかを検討課題とします。

【居宅支援事業所】

【目標】

中期目標：リ・アセスメントツールを効果的に運用できるように熟成させます。

1 保険者等主催の外部研修へ参加しケアマネジメントの手法を学習します。（例）独居認知高齢者、老々、認々世帯、精神疾患への支援、在宅での看取り。

2 事業所定期会議を設け担当支援の情報を共有、支援展開の在り方を確認します。

3 まりも園デイサービスセンターチェック用の利用者に対する個別性のサービス提供、ケアの在り方について定期会議を行います。

【取り組み】

1 保険者（小平市）開催のケアプラン研修に参加し、各テーマ研修及び、リ・アセスメント支援シートを用いたアセスメントの把握・ケアプランに運用を図りました。

2 定例会議としては業務上の兼ね合いから設けられませんでした。朝、夕と 5 分～10 分程

度の時間をもち、支援に関する情報の共有を図りました。(報告・連絡・相談・確認等)

- 3 当該会議開催に向けての準備を行ったが、業務上の時間を整えきることができず具体的な実行には至りませんでした。

【取り組みの結果】

- 1 保険者主催の研修会への参加を通じ、保険者との連絡体制の強化（繋がり）が図ることができたと共に、アセスメントに対する視点及び支援に対する多様な考えと連携機関の繋がりを構築することができました。
- 2 会議としては設けることができませんでしたが、1日を通じての情報を把握し合いながら、その後の展開に向けての捉え方、進捗等を把握することができました。
- 3 準備で留まり、実行（開催）には至りませんでした。

【来期の課題】

- 1 継続的に研修及び定例会等の機会に参加、参画します。アセスメントの質の向上に努めます。
- 2 情報共有の場、情報を通じて支援の視点を広げられるように定期的な会議を設けます。
- 3 実行に向けて定期開催を図ります。

2) 職員が笑顔で働ける環境の整備を目指します。

【特別養護老人ホーム】

【目標】

- 1 日中6名体制の業務を通常化し、職員の有給休暇取得のために業務内容の変更を行います。また、変更に伴う職員の負担を少しでも減らせる仕組みを検討します。

【取り組み】

- 1 ケアワーカーの補充ができず通常業務を日中6名体制で維持することができませんでした。業務内容の変更や負担を少しでも減らせる仕組みを検討するケアワーカー会議を持つことができませんでした。

【取り組みの結果】

- 1 有給休暇取得率の向上の成果を出すことができませんでした。

【来期の課題】

- 1 来年度より職員体制が整備されるため、ケアワーカー会議を開催し、業務再編、会議の効率的な持ち方などを検討します。

【デイサービスセンター】

【目標】

- 1 職員一人一人の研修計画を主任が作成し、外部研修への参加に取り組みます。
実行計画：平成29年2月に全職員にチャレンジシートを作成してもらい、主任との面談を行ない職員の経験と特性を生かした職員の育成を図ります。また、特養開催の内部研修への参加を積極的に行なうため、スケジュールの把握に努めます。

【取り組み】

- 1 職員個別の研修計画は作成することができませんでした。外部研修の案内を職員に回覧し、研修参加の希望を募りました。内部研修の案内を適宜、職員に通達し参加を促しました。

【取り組みの結果】

- 1 小平市の通所連絡会へ6名の職員が参加し、認知症の分類と薬についての知識を獲得し、他事業所の職員との情報共有を図ることができました。他法人が開催する褥瘡予防研修に2名の職員が参加することができました。園内研修では、高齢者の虐待防止に関する研修に5名の職員が参加し、感染症対策の研修に3名の職員が参加することができました。

【来期の課題】

- 1 園内研修を全職員が受講できるよう研修を録画し閲覧できるシステムの構築を目指します。外部研修資料の配布を継続し、参加を促すと共に、フィードバック研修の実施を目指します。

【居宅支援事業所】**【目標】**

中期目標：介護支援専門員自身のレスパイトケアを確立します。日常業務において各部署とのコミュニケーションを拡大します。

- 1 ケアマネジメントに対する課題・心労負担を解消していくための研修等に参加します。
- 2 ノー残業デイを設けます。

【取り組み】

- 1 保険者開催のアセスメント・ケアプラン研修、アンガーマネジメント研修に参加しました。
- 2 当該月を通じて業務調整を図り、定時終業の機会を設けました。

【取り組みの結果】

- 1 アンガーマネジメントの基本的知識を得て、感情のコントロールの在り方を学びました。（感情、思考の変化を捉え、そのコントロールの仕方の基本を捉えました。）
- 2 不定期ではあるが、定時終業の機会を通じてリフレッシュの時間（個人の時間）を設け翌日以降等、日常の心身負担を緩和することができました。

【来期の課題】

- 1 継続し、積極的に研修へ参加します。
- 2 メリハリとスケジュール調整を行い、定時終業を図ります。

3) 地域福祉ニーズに対応するサービス提供を目指します。**【特別養護老人ホーム】****【目標】**

- 1 短期入所を受け入れた際に、在宅に戻ることが基本とした考え方で利用期間中は住環境や生活リズム等、同様に近い支援を行います。
- 2 機能訓練は、認知症予防体操や健康体操など地域に住まわれている方にできる限り在宅生活を営んでいただける様、促進していきます。
- 3 調理は、納涼祭等の行事に近隣の方が参加できる様にし、その中で軽食を提供します。今年度行ったご家族への食事会の規模を広げ、地域の方にも昼食を提供します。

【取り組み】

- 1 生活相談員が事前面接を行った事前資料（趣味・嗜好等在宅での暮らしぶり等）をファイルメーカーのケアマニュアルに落とし込み、全職員で情報共有を行い、自宅でのベッド位置や起き上がる側の柵の位置など確認し、在宅に近い住環境を用意しました。また、本人の性

格（お話好きな方など）を考慮し、食事座席にも留意し対応しました。

2 職員の不足により地域に向けた認知症の予防体操や健康体操は実施することができませんでした。

3 11月より調理員の長期病休からの復帰はでき、職員体制は整いました。しかし、11月以降に行事等はなく今年度は実施に向けての検討をすることができませんでした。

【取り組みの結果】

1 在宅生活の暮らしぶりの一端を支援に結び付けることができました。

2 職員不足で地域に向けた認知症の予防体操や健康体操は実施することができませんでした。

3 納涼祭に近隣の方を招いて軽食提供という目標に関しては、当日の参加人数が不明瞭で、食事の準備や職員の対応が難しい等の理由で今回は実施することができませんでした。

【来期の課題】

1 短期入所者への在宅に戻ることを基本とした取り組みを継続します。

2 人員不足を解消し、来年度の課題とします。

3 職員が復帰し人員配置を整備することができたため、来年度は機会があれば実施します。

【デイサービスセンター】

【目標】

1 ナイトケアに向けた調査研究を行います。

2 利用者向けに夕食会を試行します。

【取り組み】

1 ナイトケアの必要性に関して、ご家族へ意向調査を家族懇談会の際に実施しました。

2 月に1回（最終土曜日の16:40～18:15）、夕食会を開催しました。独居世帯のご利用者を中心に参加者を募りました。

【取り組みの結果】

1 家族懇談会でご家族へ対し意向調査を実施したが、ナイトケアに関する要望はありませんでした。

2 継続して参加するご利用者が15人程度となり、メンバーも固定しました。ご利用者からは「毎月、楽しみだ。」との声が聞かれ、ご家族からは「負担が軽減した。」などの声が聞き受けられました。

【下半期の課題】

1 ご家族のレスパイト支援に繋がるサービス提供を見出すため、家族懇談会の際にご家族への意向調査を継続します。

2 ご家族のレスパイト支援に繋がるサービスと考察できるため、月に1回の夕食会を継続します。

【居宅支援事業所】

【目標】

中期目標：インフォーマルサービスに対する情報が入手でき運用させます。

1 地域ケア会議、地域開催の交流事業等への参加、参画します。

【取り組み】

1 特筆したインフォーマルサービスに対する交流会参加の機会はありませんでした。

【取り組みの結果】

1 交流会参加の機会はありませんでした。

【来期の課題】

1 地域交流の機会を通じて参加、参画を目指します。

4) 施設財政の健全化に努めます。

【特別養護老人ホーム】

【目標】

- 1 相談は退所から新規入所の期間の目途を1ヶ月とし、空床の期間を短くします。そのために、利用申込者のリストアップを図り、事前面接を定期的に行います。
- 2 超過勤務によりカバーしている1日の業務の流れを検討・変更し、超過勤務削減を行います。

【取り組み】

- 1 11月より相談室の機能強化を行い稼働率の向上が見られました。新たな相談室では、利用申込者のリストアップを図り、事前面接を定期的に行い、退所から新規入所の期間の目途を1ヶ月とし、空床の期間を短くすることを実践することができました。
- 2 超過勤務時間の削減はできませんでした。ケアワーカーの超過勤務が発生する原因は人員不足と共に、超過勤務の実態把握が必要であるが取り組み行うことはできませんでした。

【取り組みの結果】

- 1 上半期の稼働率は88.6%と低迷していたが、11月より相談室の機能強化を行った結果、稼働率の向上が見られました。10月95.6% 11月97.9% 12月100% 1月95.5% 2月94% 3月96.6% 年間稼働率92.6%となりました。(下半期の稼働率は96.6%)
- 2 超過勤務の削減には至りませんでした。

【来期の課題】

- 1 下半期においては、相談室機能は改善されたため、来年度も継続して稼働率維持ができる体制とします。
- 2 来年度、介護職員の職員体制が整うため、日中6名体制がシフト上で組み、通常業務以外の業務を勤務時間内に行える仕組みを検討します。

【デイサービスセンター】

【目標】

- 1 常勤職員3名の業務分担を分析し、業務を適正かつ正確に行なう態勢を整備します。

【取り組み】

- 1 特養部門へ常勤介護職員1名が内部異動となりました。デイサービスより非常勤介護職員1名が常勤職員となりました。デイサービスの主任兼生活相談員1名の配置換があり、常勤介護職員1名が主任兼生活相談員に任命されました。結果、常勤職員2名体制となりました。業務分担の見直しを行うことができませんでした。

【取り組みの結果】

- 1 常勤職員2名の新規体制となったため、業務分担の見直しを行うことができませんでした。

【来期の課題】

- 1 主任兼生活相談員 1 名と常勤介護職員 1 名の職務を明確にすると共に役割分担の見直しを行うことが課題となりました。

【居宅支援事業所】**【目標】**

- 1 保険者、地域包括支援センター、医療機関等との連絡形成を継続、強化します。
- 2 事務との定期会議を設け収支状況等の確認を行います。

【取り組み】

- 1 保険者主催・医師会主催の医療連携に関する研修会に参加しました。
- 2 準備に留まり、実行に至りませんでした。

【取り組みの結果】

- 1 医療機関入退院、相談等の窓口との繋がりを整えることができました。
- 2 準備に留まり実行することができませんでした。

【来期の課題】

- 1 継続的に医療分野に関する研修会等への参加、保険者主催の研修会、地域包括支援センターとの連絡連携の機会を設けます。
- 2 定期会議として実践します。

4 申出のあった苦情の対応**特別養護老人ホームまりも園**

苦情申立月	苦情の内容	対応と結果
2/24（日）	<p>ご利用者支援と面会者への対応に関して：</p> <p>ご利用者の成年後見人より、ご利用者に自費ヘルパーとして導入している、ヘルパーより成年後見人に対して苦情の申立がありました。内容としては、毎月 2 回海外にいるご家族の代わりとして他事業所のヘルパーが来園し、ご利用者の外出支援や傾聴を行っています。そのヘルパーが訪問時にまりも園ケアワーカーの対応(態度)が悪く、「今排泄の時間なのでお帰りください」等の発言があり、居づらい環境にありました。また、生活相談員の変更後に誰に相談を持ちかけて良いかがわからないと</p>	<p>介護主任に苦情内容を報告し、改善案を検討するように指示をしました。</p> <p>介護主任からケアワーカーに対して、文書にて面会者対応時の態度を改める様に指示をしました。また、依頼された事柄へのできる限りの迅速な対応を指示しました。</p> <p>生活相談員より、ご利用者の成年後見人に電話連絡をし、謝罪及び上記対応を行う旨を説明しました。</p>

	<p>のことでした。2月26日(火)に他事業所ヘルパー訪問時に詳細の内容を確認するため、ヘルパーと話をしました。ヘルパーより、ご利用者本人からヘルパーに「トイレに行きたい」の訴えがあり、それをまりも園職員に伝えた所、「ちょっとお待ちください」と言われた後にそのままにされたことがあったとのことでした。</p>	
--	--	--

まりも園デイサービス

苦情申立月	苦情の内容	対応と結果
4/10 (火)	<p>入浴支援に関して： 担当介護支援専門員より、入浴をされたのは一番最後の順番で、本人が洗身を終わられ浴槽に入浴いただいた後に、職員が浴室内の清掃（浴用チェア等の清掃）を本人が入浴いただいている最中に行なったことにより本人は早く入浴を終えなければならぬと感じたとの苦情がありました。</p>	<p>相談員より、ご利用者へ、改善策のご報告及び、謝罪をさせていただきました。 入浴サービス提供者が増加している経過にあり、入浴支援対応の職員は迅速に入浴を完了するために、入浴提供者の順番の調整を的確に図ると共に、ご利用者が入浴している最中に、ご利用者の目に届く範疇の浴室清掃を行うことは禁止としました。</p>
4/12 (木)	<p>入浴支援に関して： ご家族より、入浴提供後に使用済みのバスタオルがビニール袋に入れておらず持ち運び用の袋にバスタオルがそのまま入っていた状態があったため、入浴提供後の使用済みのバスタオルは確りとビニール袋に入れて返却をして欲しいとの苦情がありました。</p>	<p>相談員より、キーパーソンへ、改善策のご報告及び、謝罪をさせていただきました。 入浴提供後の使用済みのバスタオルは確りとビニール袋に入れて返却することを職員に周知をすると共に、勤務表の役割分担の中で入浴リーダーを構成し職員の責任の所在を明確にしました。</p>
4/12 (木)	<p>送迎支援に関して： ご家族より送迎の際にご利用者が入歯を自宅内に忘れられ、洗面所に職員が入っていき入歯の準備を行いました。その際に</p>	<p>相談員より、キーパーソンへ、改善策のご報告及び、謝罪をさせていただきました。 送迎支援の際に自宅内支援を要する際は、女性の職員が対応できるよう送迎表を組み立て、万一、職員体制状況に伴い男性職員が対応をす</p>

	お風呂場には、ご家族が入っていた状況があったため、送迎支援の際に自宅内支援を要する際は、女性の職員に対応をして欲しいとの苦情がありました。	る際には、自宅内支援は行わず声掛けにて対応することとしました。
11/14 (水)	<p>外出行事に関して：</p> <p>ご家族より、電話連絡にて</p> <p>① 事前に報告されていた外出予定先が「深大寺」であったが、「河口湖」となっていたため、外出先の変更がなされた際には、事前に報告をして欲しいとの苦情がありました。</p> <p>② 外出及び外食費用にて 3000 円を徴収されたものの、3000 円以上の費用がかかっていたため、予定金額以上の金銭がかかることに関し、事前の説明と確認を行って欲しい。また、費用にかかった根拠理由にある領収書を明確にして欲しいとの苦情がありました。</p>	<p>対応職員より、キーパーソンへ、改善策のご報告及び、謝罪をさせていただきました。</p> <p>① 外出先の変更がなされた際には、事前にご家族へ文書にて報告することとしました。(口頭報告であった場合、インフォームドコンセントが成された根拠が残らないため。)</p> <p>② 金銭に関しては、事前に徴収した金額内での対応を職員へ周知すると共に、認知症のご利用者に対する支援を再確認しました。</p>

5 発生した事故の状況

特別養護老人ホーム

種別	件数	摘 要
関係機関報告事故	5 件	<p>K・Y様 平成30年4月8日12時。昼食前、自席にいる本人の右手甲の広範囲に痣と腫脹を発見する。その後の聞き取りにて、前日4月7日から右手甲から指にかけて小さな痣があったとのこと。4月9日腫脹継続、熱感もあるため整形外科(花小金井西野整形外科)受診。右手中指基節骨骨折と診断され、シーネ、包帯固定となる。骨折の原因は不明であるが、食事席テーブルの高さと骨折部位の高さがほぼ一致していることから、食事席へ車椅子を移動の際、ぶつけたものと推察される。</p> <p>T・K様 平成30年7月25日15時57分。短期入所にて7月23日より利用を開始した方であり、短期入所の利用は全く初めての方である。午後のおやつをテレビ前にて車椅子に座り一人で摂取されていたが、ドンという音で職員が振り向くと、氏が右側臥位で転倒されている。車椅子のブレーキはかけてあり、フットレストは下げて、直接床に足が着いている状態で座っていたが、転倒さ</p>

	<p>れた際には、車椅子は氏から1mほど離れており、履いていたサンダルも少し離れたところにあった。右側頭部に腫脹があり、痛みの訴えがある。直ちに看護師によるバイタル測定と全身の外傷を確認。ご家族及び担当ケアマネに直ちに連絡し、頭部打撲のため脳神経外科通院の報告を行う。ご家族と共に受診し、24時間の経過観察と腫脹部を冷やす事、1ヶ月後の再受診の指示を受け帰園。</p> <p>F・M様 平成30年11月6日15時。平成30年11月6日11:15 37.4℃、12:15 38.0℃の発熱があるため、国分寺病院通院。外来では38.9℃となり、インフルエンザ検査を施行。A型との診断。16:30帰園し、静養室に隔離。消毒体制をとる。本人にはタミフルと解熱剤処方され投与。11月9日より平熱に解熱されるが、静養室隔離を継続。11月12日隔離解除。</p> <p>Y・K様 平成31年3月11日6時45分。本人ベッドのナースコールが鳴動したため、訪室するとベッド脇にて車椅子とベッドの間にて車椅子を背にして尻餅をつかれている所を発見する。発見時右麻痺側足首より大きく外旋している。職員2名にてベッドに移乗介助を行う。その際、痛みの訴えが聞かれる。外傷確認を行うも、特に見当たらず。本人より、トイレ希望きかれる為、バイタル測定実施後にトイレ誘導を実施。トイレでの立位保持時やや不安定な様子が見受けられる。その後、看護師の出勤を待つため、臥床介助を行う。7:45 看護師出勤したため、事故状況の報告を行う。骨折の疑いがあるため、7:55 一橋病院に電話連絡を看護師から行う。9:00からの診察を受ける様に指示あり。8:15 一橋病院の整形外科に受診に行く。レントゲン検査を行い、右下腿骨折との事で、シーネ固定を実施。医師より、3週間固定を行い、再診の指示あり。11:10 帰園する。</p> <p>M・K様 平成31年3月12日6時50分。ベッドセンサーが鳴動したため、訪室すると覚醒されていたため、排泄介助（トイレ誘導）を行う。その後、フロアに誘導を行い、車椅子から椅子へ移乗介助を行う。フロアにて立ち上がり頻回にあり、チェアセンサーが鳴動していた。本人より「鍋の火を入れに行くんだよ」と話されているため、都度職員が傾聴及び声掛けの対応を行う。6:50 物音がした為、確認すると、右側臥位にて転倒しているところを発見する。椅子センサーはONになっていたが、鳴動せず。職員2名にて自席の椅子に移乗介助を行う。その際、立位は安定している。本人より「足が滑った」との話あり。また、外傷確認行うも特に見られず。職員が頭部を打ったかを確認すると「ぶつけてない」との返答が聞かれる。6:55 バイタル測定を実施。KT=36.8℃ BP=178/94 P=62 SP02=98%。意識明瞭であり、外傷及び痛み等がないため、自席にて様子を見る。7:30 BP=146/77 P=68。特変見られず。7:45 朝食を提供し自力全量摂取。8:20 看護師が出勤したため、事故状況の報告を行う。その際、右頬に赤みが見られる。10:00 あかしあ脳神経外科に通院する。診察の結果、脳出血が見</p>
--	--

		られるとの事で、公立昭和病院の受診指示あり。12：00 公立昭和病院に受診に行き、再度診察を行って頂く。12：30 検査の結果、脳出血が認められるため、昭和病院に経過観察のため入院される。3月13日病院Drと御家族（長女）でメンテラを行い、「脳出血の状態は悪化しておらず、症状も特くない。何か気になる症状が出たら通院してよい」とのこと。同日夕方退院となる。
--	--	--

デイサービス

種別	件数	摘 要
関係機関報告事故	0件	

5 職員体制（平成31年3月31日）

	施設長	事務員	相談員	ケアマネ	介護職員	医師	看護職員	柔術整復師	管理栄養士	調理員	フアパート	洗濯員	運転員	計
職員数	1	2	3	3	23	2	9	1	2	7	3	3	2	61
うち常勤	1	2	3	3	13		2	1	1	3				29
常勤換算	1	2	3	3	21	0.2	6.3	1	1.8	6.1	1	1.4	0.5	48.3

6 研修の実施状況

1) 施設内研修

研修テーマ	内容	講師	参加職種	延回数	延人員
虐待防止	・高齢者虐待防止、権利擁護について	高橋生活相談員・金井生活相談員	経営・事務・相談・介護支援専門員・介護・看護	1	13
褥瘡予防	・高齢者スキンケア（日常のケアから褥瘡の予防まで）	花王プロフェッショナル・サービス株式会社	経営・相談・介護支援専門員・介護・看護	1	9
食中毒予防	・食中毒発生状況 ・食中毒病院物質分類 ・食中毒の予防、体調管理、罹患時の受診について	水谷管理栄養士	相談・介護支援専門員・介護	15	26
感染症予防	・医療施設におけるノロウイルス対策	花王プロフェッショナル・サービス株式会社	相談・介護支援専門員・看護・機能訓練・介護・調	2	20

			理		
事故発生の防止のための研修	・誤嚥性肺炎について ・口腔ケアの重要性 ・移乗、ポジショニング等、基本的な介助方法	リスクマネジメント委員会/ 機能訓練指導員	介護	2	30
身体的拘束適正化研修	・身体拘束の定義 ・身体拘束は何故行って	高橋生活相談員	介護	2	30
ハラスメント防止	・パワーハラスメント防止施設長研修	大迫正晴氏	経営	1	1
ケアプラン	・アセスメントからケアプランの考え方 ・アセスメントの作成方法 ・担当業務内容について	青木介護支援専門員	介護	1	1

2) 施設外研修

研修名	主催	参加職種	人員
指定更新事業者研修	東京都福祉保健局	経営	1
高齢者虐待防止研修	東京都福祉保健財団	経営・相談・介護 支援専門員	3
ハラスメント対策研修	株式会社ハートセラピー	経営	1
介護職員就業促進事業	東京都福祉保健局	相談	1
リスク管理研修	東京都福祉保健財団	機能訓練	1
施設職員のための認知症ケア向上研修	小平市地域包括支援センター中央センター（基幹型）	介護	2
褥瘡管理研修	緑成会病院	経営・相談	2
認知症の分類と薬	通所連絡会	相談・介護・看護	6
アセスメント・ケアプラン研修	小平市	介護支援専門員	2
アンガーマネジメント研修	小平市	介護支援専門員	2

7 行事の実施状況

特別養護老人ホーム

実施月日	行事名	実施場所	参加者			
			利用者	職員	その他	計
4/21	4月誕生会	まりも園フロア	42	6	0	48
5/2.3.4	菖蒲湯	まりも園浴室	42	6	0	48
5/19	5月誕生会	まりも園フロア	43	8	0	51
5/25	春行事（ピクニック）	まりもビル屋上	43	20	1	64
6/16	6月誕生会	まりも園フロア	43	5	0	48

7/17	納涼祭	まりもビル1F	45	29	79	153
7/21	7月誕生会	まりも園フロア	46	7	0	53
8/18	8月誕生会	まりも園フロア	47	6	0	53
9/15	敬老会	まりも園フロア	47	19	23	89
9/29	9月誕生会	まりも園フロア	49	7	0	56
10/30	10月誕生会	まりも園フロア	50	8	0	58
11/2.3.4	文化祭	学芸大学内	38	11	2	51
11/24	11月誕生会	まりも園フロア	50	8	0	58
12/15	12月誕生会	まりも園フロア	50	8	0	58
12/19	ゆず湯	まりも園浴室	50	12	0	62
12/22	忘年会	まりも園フロア	49	14	4	67
1/6	初詣	山王稲穂神社	20	9	0	29
1/13	1月誕生会	まりも園フロア	45	6	0	51
1/19	新年会	まりも園フロア	47	20	25	92
2/2	節分会	まりも園フロア	46	7	0	53
2/16	2月誕生会	まりも園フロア	46	6	0	52
3/2	雛祭り会	まりも園フロア	50	8	0	58
3/16	3月誕生会	まりも園フロア	48	6	0	54

デイサービス

実施月日	行事名	実施場所	参加者			
			利用者	職員	その他	計
4/4 (水)	お花見	小金井公園/航空公園/昭和記念公園/	23	12	0	35
4/19 (木)	外食会	たまゆら/味の民芸/勝亭	22	10	0	32
5/8 (火)	母の日会	まりも園	22	10	0	32
5/16 (水)	新緑外出	狭山公園/生田緑地バラ園/河口湖	23	12	0	35
6/13 (水)	父の日会	まりも園	22	10	0	32
6/21 (木)	季節外出	府中の森公園/鎌倉大仏/サイボクハム	23	12	0	35
7/6 (金)	七夕会	まりも園	19	10	0	29
7/14 (土)	納涼祭	まりも園	30	12	111	153
8/8 (水)	夏祭り	まりも園	28	14	2	44
9/14 (金)	敬老会	まりも園	34	9	5	48
10/11	運動会	まりも園	27	10	1	38

(木)						
11/3 (土)	学芸大文化祭	東京学芸大学	21	9	0	30
11/13 (火)	紅葉狩り	江ノ島/深大寺/河 口湖	17	13	4	34
12/24 (火)	クリスマス会	まりも園	26	10	1	37
12/29 (土)	忘年会	まりも園	20	10	0	30
1/4 (金) 1/5 (土) 1/9 (水) 1/10 (木)	初詣	大國魂神社	35	12	0	47
1/14 (月)	新年会	まりも園	25	8	9	42
2/1 (金)	節分会	まりも園	19	8	0	27
3/2 (土)	雛祭り会	まりも園	23	9	1	33
3/9 (土)	移動水族館	まりも園	18	7	0	25